

茨城県行方市立行方小学校 (学校長 橋本 美江)

実施日	平成19年11月6日(火)	時間	午前9時30分～午後12時10分
実施場所	音楽室	対象/人数	1～6年生73名
担当教諭	相澤 修	ファシリテーター	小林 郁子
講師	シャーリー・アンドリュース (アメリカ)		

活動内容

・講師紹介、出身地(アメリカ・フロリダ)について、場所、自然の様子、街の様子、両親の出身地(ハイチ)について、場所、建物、交通、食べ物、家族について、英語・音楽を使っのゲーム

児童の感想

- ・さいしょに、あいさつのしかたをおしえてもらいました。つぎに、シャーリーさんの大きな家や家ぞくのしゃしんをみせてもらいました。その中でも海のしゃしんは、青くすきとおっていてとてもきれいでした。
- ・一つの島に2つの国があるなんてびっくりしました。海がきれいで泳いでみたいと思いました。先生のお父さんは、たくさん言葉を話せてすごいと思いました。
- ・英語以外の話す言葉があることにおどろきました。
- ・ハイチから来たシャーリーさんと出会い、出身地、家族、食事のことなど、たくさん教えてもらい、たくさんのことを学びました。

先生の感想

・国際化社会に対応できるようになるには、やはりこのような外国の人々や文化に触れ、積極的に交流することが大切である。そのためには、このような外国人講師を学校に招き、ゲームをしたり、楽しく歌ったりして楽しくふれあう機会を増やしていけたらと思う。日本では見慣れない食べ物や、変わった形の家、講師の家族などの写真の一枚一枚を、子ども達はとても興味深く見ていた。簡単な英語を使った鬼ごっこも、大いに盛り上がり、あっという間に時間が過ぎたという感じだった。短い時間だったが、外国の人や文化に楽しく接する貴重な体験ができたと思う。

成果と課題

・シャーリーさんの明るい人柄と話し方で、子ども達が話の中に吸い込まれていくように感じました。子どもたちにとって、異文化を理解することや、国際協力のために活動している人たちがいることを知るの必要なことであり、意義のあることだと思います。今回の学習で異文化理解を深め

るきっかけをつくれたのは何よりであったと思います。今後も世界のいろいろな国について、文化や生活習慣を正しく理解できる機会を積極的につくっていきたいと思います。そして、さまざまな人との交流を図りながら、子どもたちが世界の人々と協力し合って共に生きていく力を育てていきたいと思います。

